

商学部における特色ある学部教育の補助
「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」 報告書

| | | | | | |
|------|------------------------------|----|---|----------|---------|
| テーマ | 日本茶におけるブランド構築とファミリービジネスの事業継承 | | | | |
| 科目名 | 演習Ⅲ | | | | |
| 担当教員 | 砂川 和範 | | | | |
| 実施日 | 2025年6月12日 | 時限 | 5 | 時限目 実施教室 | F310 教室 |

実施趣旨（目的）

演習Ⅲでは、中小企業・ファミリービジネスの経営と事業継承を主要テーマの一つとしている。本ゲストスピーカーでは、高級茶「伊勢茶」ブランドを牽引する株式会社芳翠園代表取締役・杉本洋太氏を招き、明治20年（1887年）創業の老舗茶業（製造：老松園／販売：芳翠園）における四代にわたる事業承継、伝統的製法の継承と現代的マーケティング・近代的管理技術の両立、神宮司序御用達という高品質ブランドの構築・維持の実際を学ぶことを目的とした。老舗同族企業がいかに伝統を保持しつつ、環境配慮型農業や新商品開発を通じて市場価値を更新しているかを、当事者の語りから具体的に理解し、各自のゼミ研究やキャリア観に接続することを企図した。また実際に杉本様より持参いただいたお茶を入れて試飲する実習も行った。

実施結果

実施計画のとおり、2025年6月12日5時限目にF310教室において実施した。講演では、芳翠園・老松園両社の沿革と、製造（老松園）・販売（芳翠園）の機能分担に基づく同族経営の構造、「お茶は生鮮食品である」という品質思想にもとづく瞬間冷却等の独自の品質管理について具体的に解説いただいた。とりわけ、四代目としての事業継承の経緯、百貨店催事や和洋菓子との組み合わせによる新たな顧客接点の創出、契約農家との連携による減農薬・有機的栽培といったサステナブルな取り組みが、ブランド価値の維持・向上にいかに関与しているかが示された。講演後の担当教員との対談およびQ&Aでは、後継者育成、価格戦略、伝統と革新の両立、地域産業としての伊勢茶の今後等をめぐり活発な質疑が行われた。受講生は、老舗ファミリービジネスにおいて「守るべきもの」と「変えるべきもの」をいかに見極めるかという論点に強い関心を示し、ゼミ研究のテーマ設定や中小企業理解を深める契機となった。